



札幌スタイル



紙せっけん「初雪」の開発に携わった

サボン・デ・シエスタ創業者

附柴 彩子さん

民間企業の調査で、「日本で最も魅力的な市」の一位に二年連続で選ばれている札幌。その札幌が持つ美しい都市のイメージを洗練されたデザインで表現し、北国ならではの生活スタイルを提案する製品を、市では「札幌スタイル」として提唱・支援しています。

現在認証している製品は五十以上。アイデアとデザインを募集する選考会も行っており、そのアイデアを商品化したものが「初雪」です。

初雪は、雪の結晶の形をした紙せっけん。手のひらに乗せて水を掛けながら泡立てると、ゆっくりと透明になり、溶けて消えるように泡へと変わります。あたかも手のひらの熱で溶けていく本物の雪のようです。

この商品は、市内の二つの企業と市などが連携して完成させたもの。その素地開発を担当したのが、附柴彩子さん

です。附柴さんは、防腐剤などを使わないせっけん作りを手掛けています。

「天然素材にこだわることで、これまでの紙せっけんにはない、自然豊かな札幌らしさを出したいと思ったんです」

こだわりの素材だけではありません。ふわふわとした雪のような質感を出すために、原料を泡立てて気泡を入れるアイデアを採用。これにより、ふわりとした手触りも実現しました。

「お土産で購入されることが多いので、札幌のイメージが伝わり、札幌つてすてきなまちだと思ってもらえるような商品になってほしい」

その思い通り、初雪は道外からも問い合わせがくる人気商品に成長しました。同じ素地を使用した動物型の紙せっけんが円山動物園で販売されるなど、今では派生商品も生まれています。

「製造工程に手作業が多いので、スピードや効率を求めると苦勞が絶えません。でも、人の手の温かさも感じられるこうした商品は、札幌だからこそできると思うんです」

そう語る附柴さんからは、札幌発のものづくりに対する確かな自信がうかがえます。「白い恋人やジンギスカンな

札幌スタイルに出会う

北海道・札幌発の製品を展示・販売しています。

札幌スタイルショップ

所在地 ● 中央区北5西2

JRタワー6階展望室入口

営業時間 ● 午前10時～午後8時

(年中無休)

電話 ● 209-5501



ど、食の分野では有名なものがあります。まちは代表する工業製品が今の札幌にはほとんどありません。初雪をきっかけに札幌スタイルというブランドをもっと多くの人に知ってもらい、さらには札幌スタイルが『札幌に行くなら買ってきてね』と言われるような、まちを象徴する存在になってほしいですね」

つけしば・あやこ
千葉県生まれ。北海道大学大学院理学研究科で高分子機能学を学ぶ。平成十七年に天然素材を原料に非加熱で作るせっけんブランド「サボン・デ・シエスタ」を立ち上げる。

Info.